



2012 J.League Division2

第14節 松本山雅 戦

5/13 (日) 19:00~

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

F C岐阜大好き通信 (岐大通)

5/13号

編集発行: 『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:

ささたく & 吉田鑄造

today's guest : 松本山雅 2011 JFL 1勝8分8敗 勝ち点59第4位

松本市内にあった喫茶店『山雅(やまが)』を名前の由来とする「山雅クラブ」は、1975年からスタートした北信越リーグの創設時のメンバーで、一度も長野県リーグに降格することはなかった(2003年には降格圏内に入るも、翌年から北信越リーグが2部制になったことにより地域リーグに残留)。2005年から「松本山雅」として強化開始。JAPANサッカーカレッジ(新潟)、長野パルセイロ、ツエーゲン金沢で優勝を争った北信越リーグ1部の闘いは地域リーグとしては異例の熾烈な熱さで注目され、特に同県・長野との対決「信州ダービー」は、その地勢学的・歴史的背景から激しさを増し、映画の題材にもなった。2007年から3年連続で「地域決勝」へ挑戦し、2010年からJFL。翌年に4位となり、今年からJリーグ参戦。ここ最近では天皇杯に強く、2009年にはJ1チームに地域リーグ勢として初勝利(浦和に2-0)。次戦で岐阜に1-4で敗れる。岐阜は続く千葉戦にも勝って8強入り)。昨年横浜FC、新潟とJリーグ勢に2勝した。(吉田鑄造)

前節のアウェイ岡山戦では、試合終盤に4試合ぶりとなる待望の得点を挙げ、GW連戦の最終戦を勝利で飾ったFC岐阜。残念ながら順位は最下位と変わっていないが、勝ち点を9に積み上げて上位との差を縮めることができた。現在のJ2下位グループは大混戦で、岐阜と3点差の勝ち点12で15位なので、今節の結果次第では順位変動が大きい。今節は一気に順位を上げるチャンスなのだ。その大事な今節、対戦相手の松本山雅FCは、多くの岐阜サポが「負けたくないチーム」の上位に挙げる相手だろう。今年から開催されている、富山・松本・岐阜で対戦成績を争う「TOP OF 北アルプス」の対戦カードということもあるだろうが、松本とは東海リーグ時代から練習試合を行うなどチーム同士も交流があり、また、選手もかつて岐阜に在籍していた#14村隆二(05~08)、#11片山「ガチャ」真人(08~09)、#13木島徹也(06~07)、そして岐阜工出身の#36益山司らがいるチームだ。彼らとの再会と対戦(そして勝利)を楽しみにしている岐阜サポも多いはずだ。隣接県で同じ「緑」をチームカラーにする岐阜と松本。現在はJ参入初年度ながら千葉に勝利し、湘南や京都に引き分けている松本の方が14位と上位にいるが、岐阜としては絶対に負けるわけにはいかない一戦だ。岡山戦と同様、必死にボールを奪って走り続け、積極的にゴールを狙っていけば、連勝という結果が見えてくるだろう。

また、松本サポーターが大挙して長良川にやって来るという情報もあり、サポーターとしても負けられない一戦になることは間違いない。(ささたく)

◇FC岐阜、応援しています！

●家族でFC岐阜が大好きです。今年は中学生の娘も特にはまっていて、毎回ホーム戦に出かけています。クラスでも熱烈ファンが集まって毎日FC岐阜ネタで盛り上がっているようで……。こんなにファンがたくさんいるんだから、やっぱり選手にはホーム戦で勝ってほしいと思います。岐阜からJリーグを消さないように。頑張れ！(FC岐阜は生観戦が面白い)

FC岐阜サポによるゲリラ的Ustream配信番組

今シーズンからのサポーター発信企画として、基本的にホーム戦の前日に、インターネットの動画共有サービス「Ustream」を利用した手作り感満載の番組を下記アドレスで放送しています。サポーターの『生の声』をお楽しみください。

<http://www.ustream.tv/channel/sstak12-fcgifu>

今回は5/26(土) 21:00開始の予定です。

2012J2 順位表 第13節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1	山形	29p	+7	19	12
2	湘南	27p	+9	26	17 A●
3	東京V	25p	+10	21	11
4	京都	25p	+8	19	11 H●
5	大分	24p	+9	20	11 H●
6	千葉	24p	+9	16	7
7	水戸	24p	+5	13	8 H●
8	甲府	22p	+4	17	13
9	岡山	22p	+2	11	9 A○
10	愛媛	19p	+7	19	12
11	北九州	19p	+1	13	12 H○
12	福岡	16p	+3	20	17
13	栃木	15p	0	12	12 A△
14	松本	15p	-5	8	13
15	横浜FC	12p	-7	13	18 H●
16	草津	12p	-8	9	17 H△
17	徳島	12p	-9	9	18 A●
18	町田	11p	-6	12	18
19	熊本	11p	-7	10	17 A●
20	鳥取	11p	-15	9	24 H△
21	富山	10p	-5	13	18 A●
22	岐阜	9p	-12	6	18 == ==



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

ALADDIN

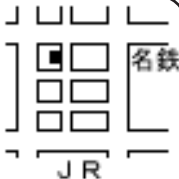
何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしやいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休: 日曜日(今日はお休みです)



投稿募集!

gidaidoh@hotmail.co.jp

次回 HomeGame

第1節 ヴァンフォーレ甲府戦

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

5/27(日) 19:00

【第12節】岐阜0-水戸

●「さあ、次はアウェイ岡山戦だ」と書くより他はないような試合（苦笑）。今夜の観客は久々の五千超え。何とか結果が欲しかった。でも、仕方ない……だな。「仕方ない」と言うのはどうか、と思うけれども、それでも出てしまった結果は今さらどうしようもない。そういう意味で仕方ないを書いておく。かくいう自分も、試合後は富山戦よりへばった。ヘタレだな、と言うしかない。

水戸は上位に付けてるだけあって、実にイイ感じの攻撃が出来たように思う。ウチとの大きな違いは、最後のパスを入れる時にゴール前になだれ込んでくる人数の多さ。常に3～4人、時には5人くらいいたような気さえする。たまたまの一回とか、セットプレーからの流れでそうだったのが印象に残ってるだけではないと思う。逆に、こちらは攻撃の起点というか収まりどころがなく、なかなか後ろから上がれないためゴール前的人数が足りない。圧倒的に足りない。そんな感じに見受けられた。そして、最大の敗因は……、まあ、それを言っちゃあ……なコトだけ決定力。何しろシュートが撃てない（でも、スタッツを見ると8対10となっていた。数字だけ見るとそんなに差がない。それが不思議）。で、撃っても枠に飛ばない。たまに、枠に飛んでも威力がない。でも、コレばっかはなあ～。監督の能力の範疇を超えてるから……。やっぱり、正吾みたいにシュート練習してもらうしかないな。そんな中で、ハンジェのシュートがだんだんゴールに近づいてるような気がする。日曜岡山での凱旋？ゴールに期待しておこう。試合後の挨拶の時、珍しく？行徳さんが最後まで残って何度も頭を下げてたけど……。ツライねえ。行徳さんも悩みが多いだろうが、選手のモチベーション、コンディションは落とさないようにしてほしい。危うい場面もあるが、それでも失点は最小限に抑えている。これ以上他チームから離されるのは厳しい。それでも、このままでは終わらないと信じている。

そんな中でも、一筋の光明。Jリーグ初出場を果たした27番・中島。決してテクニックがあるようには見えない（失礼！）が、彼のプレーには見る者を惹きつけるサムシングが感じられた。今の段階では、スタメン奪取までは厳しいかもしれないが、停滞した攻撃を活性化させるような働きを期待している！（ぐん、）

●水戸は、ウチにとって相性の良い相手だったハズなんだけどなあ…（溜息）。「あの」昨年だって2勝（というか、年間6勝での2勝）できたし、通算対戦成績でも7勝2分1敗と圧倒的な勝率だったんだけどなあ…（溜息）。ハットさんのJ通算500試合出場記念セレモニーもあったし、GW後半初日ということもあって、今季最多観客数の5232人が来場した試合だったんだけどなあ…（更に溜息）。しかし、流石は現在4位の実力というべきか。やはり「今年の水戸は違う」ということなのだろう。悔しい3連敗となってしまった。

試合内容としては、確かに水戸が若干優位だったように思うが、一方でそれほどウチが劣勢だったとも思えなかったのだけど…またしてもセットプレーでの失点。完全にマークを振り切った水戸MFロメロ・フランクにニアに飛び込まれ、CKをワンタッチで合わせられ、ゴールを献上してしまった。確かに（悔しいけれど）技ありのシュートで、僕は女子W杯決勝での澤の同点ゴールシーンが蘇ってしまったのだけど、同時に、3日前に見た富山戦の苦々しいシーンも蘇ってきてしまった。危ないシーンは何度もあったけど、これ以外はきちんと守り切れていただけに、非常に残念だった。

一方の攻撃の方は…（溜息）。もっと積極的に行って欲しいなあとか、もっと落ち着いてプレイして欲しいなあとか思うシーンが何度もあった。やはり、今年はリーグ最少得点しか挙げられていないという事実が選手を苦しめ、更に得点から遠ざけてしまっているような気がする。でも、そ

の状況を改善するためには（矛盾しているようだが）得点を挙げていくしか無い訳で、攻撃陣には気持ちを入れ替えて頑張ってもらいたい。

そんな中、後半から投入されたJ初出場のFW#2中島。以前から、練習を見ているサポ仲間からは期待の声を聞いていたのだけど…確かに、「オレが点を獲ってやる」って雰囲気が出て、フィジカルも強くなって、ワクワクさせてくれた。こういった、フレッシュな選手がチームを活性化させてくれることを期待したい。

最後に。服部選手、J通算500試合出場おめでとう！！現・甲府の伊東テルに続いて達成した貴方の偉大な記録に、心から敬意を表します。その豊富な経験を若い連中に伝えていって欲しいし、また、その若い連中に負けないプレイをこれからも見せて欲しいと思います。（ささたく）

●試合前の屋台村の盛り上がりはこれまでの数試合と違って「今日はお客さん多いね」と喜んでしまう。そんな大勢の観客の前で、「FC岐阜の抱える問題点は何も変わっていません」というサッカーをしてしまう情けなさ。パスが繋がるのは後ろだけ。相手陣内の危険なエリアでパスが出せる選手がいないので、作れるのは“チャンスの入口”まで。では、と打開に向けて後方から前線に長いボールを打ち込んでも、洗一はポストプレーが得意な選手ではないのでボールが収まらずに奪われてしまう。水戸守備陣に乱れがあって“チャンスの入口”が“チャンス”に昇格（笑）しそうな場面はあったけど、勝負に出て突破出来たらまさに決定機になりそうでも、自信なく後ろに戻してしまうシーンが目についた。『ボールを大事にする』のではなく、『怖がっている』。攻撃が機能していないゆえの悪循環か。スタンドで観ていても歯がゆかった。一番得点のカオリが濃かったのはハンジェの意外性のある2発のミドルだった、というのが現在のFC岐阜における攻撃の停滞ぶりを露わしている。そんな中で、途中から入った中島のプレーぶりは将来に期待を抱かせてくれるものだった。いまの岐阜の攻撃陣にはない、『危険なカオリ』がしていた気がする。（吉田鎬造）

【ユース】県G2リーグ戦

●我らがFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）は、5月6日に県G2リーグ第2節の試合がありました。対戦相手は岐阜北高校。昨年FC岐阜ユースと一緒にG3リーグから昇格してきたチームです。残念ながら試合は観戦出来ませんでした。チーム公式サイトや現地組の情報によれば3対1で勝利したとの事です（拍手）。今週末には5月12日（土）に県G2リーグ第3節で東濃実業との対戦、5月13日（日）にクラブユース選手権のHonda FCとの対戦がそれぞれあります。東濃実業は昨年G1リーグからの降格組、Honda FCは昨年のクラブユース選手権1次予選を一位抜けている言わずと知れた強豪チームであり、それらのチームとの対戦が連日有るという非常にハードなスケジュールとなっています。両試合ともベストメンバーで行くのか？それともターンオーバーするのか？平田監督の采配とそれに対する選手達の頑張りを期待しています。特にクラブユース選手権の方は5月6日現在で暫定3位。この試合で勝てばほぼ1次リーグ勝ちぬけが決まる又上位に付ける事が出来る大事な一戦。この岐大通が配られている頃には結果が出ている筈なので、吉報を待っています。

今後の日程は、まずクラブユース選手権最終節である5月20日のFC ERDEとの試合があります。場所は浜松市北区のホンダ細江グラウンド。ちょっと遠いですが、良ければ応援に足を運んで下さい。

一方の県G2リーグの次の試合は少し間隔が空いて6月9日（土）に大垣市杭瀬川グラウンドで大垣工業Bチームと対戦がありますので、こちらもどうぞ。

FORZA! FC岐阜ユース!!（シュナ）

【第13節】岡山0-1岐阜

●岡山に1-0で勝利。GW中の過密日程の最終試合ということで共に動きに精彩を欠く場面も多く、終盤まで膠着状態が続きこれはスコアレスドローもやむなしかなと思っていた中での樋口のゴール。ハンジェが90分使えるメドが立ち、服部とのボランチコンビも機能して岡山戦ではかなり高い位置でのボール奪取に成功することができていた。洗一もゴールこそなかったものの、積極的にシュートに行っていたのは評価できる。交代で入った中島も走り回って、相手ボールにプレッシャーを掛けに行けていた。ディフェンスも相手に危ない場面を作らせることが少なかった。関田と秀人で役割分担がしっかりできていた部分はあったかなど。

後半相手がチアゴを投入してきて川又との2TOPは少し脅威に感じたが、ポジションチェンジで川又が少し左に流れ気味になったのが幸いした感じだった。

順位は上がらなかったものの、順位がすぐ上のチームに離されることがなかったのは大きいと言える。

今回岡山へは途中から鉄道を利用。岡山駅には岐阜サポーターを歓迎する貼り紙がしてあり駅前の大手家電店では、店員がファジアーノのTシャツを着て接客していた。駅からスタジアムへ向かう道すがら、道路のごみを拾いながら歩いているファジサポさんのグループに話しかけられ、オフィシャルグッズのショップにもご案内していただいた。スタジアムグルメのクオリティの高さは相変わらずだし

(ファジサポさんに言わせると少々高いということだが)試合が終わってからも、駅まで戻る道でファジサポのご夫婦に話しかけていただいたりした。ファジアーノのホスピタリティの高さはJクラブの中でもかなり高い部類に入るのではないかな。岐阜も大いに見習うべき点があるなと感じさせられた。(岐阜の誇り)

●「Veni, Vedi, Vici」(来た、見た、勝った!)。これはローマのカエサルの言葉でしたか。岡山のゴール裏にもこの言葉のダンマクが掲出されていますが、今回は文句なしに我々の状態を表す言葉に!久しぶりのアウェイ勝利。確か、昨季の岡山戦・押谷の2ゴール逆転勝ち以来ですよ。しかも、9500人もの相手サポがいる中でのアウェイ勝利の味は格別です!早くビールが飲みたかった(笑)。

それに、得点もイイ時間帯。逆に、前半とか後半の早い時間だったらどうだったか?いや、これはまったくの杞憂ですけど、やっぱり勝ち慣れてないとどうしても心配に……。もちろん、前半に先制し、優位を保ったまま体力も温存してケガや警告をもらわないように勝つのがベストでしょうが、今はそんなゼイタクは言ってもらえません。それでも、正直前半から「シュートは梓〜!」と心の中で何度叫んだことか(笑)。

でも、守備はなんとか凌ぎきってくれました。ボランチ2人の活躍は特筆モノ。特にハンジェはお母様を始めとした応援団の後押しもあったのでしょうか?試合前に仲間と話している様子を見た時には「見かけない方たちだなあ?」と思いましたが、最後まで我々といっしょに応援していただきました。惜しむらくはハンジェのゴールが見られなかったこと。今度はぜひ長良川までおいでください!

それにしても、何でこんなに劇的に決めますかね?しかも、キレイなゴールではなく、相手DFに当たったのゴールとは……。それでも、バクスタの方に駆けて来てくれた樋口の気持ちが嬉しかった!とはいえ、彼が今季のチーム初めての複数得点者(ようやく2得点。後は洗一、染矢、廣田、平が1点ずつ)。これじゃあ、全っ然足りないよね。次節からの量産を期待しています!

さて、この試合は渋滞回避の目的もあって、かなり早めに出発した。その甲斐あって勝利以外にも、初めてのファジ飯も堪能しました!いろんな意味で岡山はオイシイ!!そして、何より開場前にJリーグ特命PR部マネージャーの

スタジアム入りに遭遇したこと。タクシーから降り立った後ろ姿を見て、今日の岡山に来場するという告知を思い出しました。一昨年のメドウ以来二回目の遭遇でしたが、顔小さっ、色白っ、足細っ!膝下の長さにも目を奪われます。アノ脚の上にアレがっ!と思うと、もうね……。やはり、岡山サポより先に遭遇したのも勝因の一つ。先に見つけた方に女神は微笑むものですよ。

あ〜、勝利はこんなに楽しい。次はホーム2勝めを……。早く……。(ぐん、)

●岡山との対戦成績は、5勝2分1敗と、前節の対戦相手だった水戸に次いでウチと相性が良く、アウェイでは無敗。…という相性の良さも、相性バツグンだった水戸に敗れてしまった以上、あんまり信用できる訳がなく(苦笑)。しかも、岡山も今季は8戦無敗・2連勝・7位と好調。試合の序盤は、中2日での過密日程だったGW4連戦の最終戦ということもあり、選手の動きはやはり鈍かった。僕らサポですらキツイ日程(苦笑)なんだから、それはどうしても仕方ないことだし、それでも選手たちは「GW4連戦を4連敗というのは許されない。だから絶対に勝ちたい」という気迫に満ちていたように思う。その中でも、岡山県倉敷市出身のMF#8ハンジェとGK#22多田は家族達が応援に来ていた(特にハンジェの方は大応援団でやって来ていた(笑))こともあったからか、普段よりも良い動き…というか、ハンジェの動きは「大怪我から復帰した姿を見せて勝つ!」とでも言わんばかりの、鬼気迫るような迫力を感じた。ハットさんも「ホントにベテラン選手の運動量か!?!」って思うぐらい、激しく動いていた。この2人のボランチが(いつも以上に)動き回って中盤を支配していたので、試合の流れは岐阜が掴んでいたと思うし、このベテランに触発されて、徐々にチーム全体の動きも良くなっていた。…けれども、今日もゴールが決まらない。前半も終わり、後半も徐々に時間がなくなっていく中で、僕は

「今日もまた得点が奪えないのか、このまま引き分けてしまうのか、それとも…」と、ジリジリとした焦りを漠然と感じながら、それでも勝つんだと、選手たちを信じて声援を送り続けていた。すると、後半4分。自陣左サイドでボールを奪ったハットさん→樋口がドリブル→中島→タイラときて、DFの裏に抜け出した中島にボールが渡り、そのクロスを、ずっと走って前線に上がってきたFW#10樋口が中央で受け止め右足を振り抜くと、ボールはDFに弾かれたが、そのままゴールネットを揺らし、3試合ぶりの、そして待望の先制点!!そのまま僕らサポーターの方に駆けてくる樋口の姿に、思いっきりナダレて壊れる岐阜サポ一同(笑)。僕自身、久しぶりに我を忘れて最前列に走って行って、フェンスから身を乗り出して彼を指さし、大声で叫んでいたことを告白しなくてはならない(苦笑)。そして、この1点を守りきって試合終了の笛を聞いた時の歓喜といったら。岡山が好調なこともあって、9500人を超える観客でのアウェイで勝利を味わえることの痛快さといったら…。一生懸命応援して、チームが勝利することの喜びを知ってしまうと、サポはなかなか止められない(苦笑)。残念ながら順位は変わらず最下位のままだけれど、21位と勝ち点が3点離れていたのが、1点差にまで縮まったし、厳しいコンディションでの勝利は、チームに大きな自信となるだろう。ただ、あえて課題を指摘させていただくならば、やはり決定機を逃すシーンが何度かあったのは問題だ。特に、前半29分の洗一と後半9分のタイラのシュートは決めて欲しかった…あれを決めていれば、もっと楽に勝てたのではないだろうか。もちろん、そうだったら、あれほど岐阜サポが喜んで壊れる事もなかったとも思うのだけど(苦笑)。ともあれ、やはり勝利の味は格別だ。日帰りのアウェイ遠征も、気持ちよく帰ってくることができた。さて、この勝利の喜びを、今度はホームで、みんなで味わおう。連勝の達成を、そして最下位からの脱出を。そのためにチームは奮起してほしいし、僕も精一杯声援を送りたい。そして、今日も万歳四唱だ!(ささたく)

